



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月10日

上場会社名 株式会社ラクス 上場取引所 東
 コード番号 3923 URL http://www.rakus.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 崇則
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略本部長 (氏名) 松嶋 祥文 TEL 03 (5362) 3650
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	2,337	20.3	410	6.9	406	6.1	278	9.7
28年3月期第2四半期	1,943	—	383	—	382	—	254	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 285百万円 (13.2%) 28年3月期第2四半期 251百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	12.31	—
28年3月期第2四半期	11.69	—

(注) 1. 当社は、平成28年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。
 2. 当社は、平成27年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成28年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,154	2,478	78.6
28年3月期	3,107	2,247	72.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 2,478百万円 28年3月期 2,247百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.80	4.80
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.05	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成28年8月10日開催の取締役会において、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成29年3月期(予想)の期末配当金については当該株式分割の影響を考慮しております。なお、平成28年3月期につきましては、当該分割前の実際の配当額を記載しております。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,782	17.3	812	3.5	816	5.0	573	8.9	25.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成28年8月10日開催の取締役会において、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い1株当たり四半期(当期)純利益の予想値は当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期2Q	22,652,000株	28年3月期	21,732,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	64株	28年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期2Q	22,651,986株	28年3月期2Q	21,732,000株

(注) 当社は、平成28年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済はゆるやかな回復傾向が継続しているものの、海外景気の減速や円高等の影響で、企業業績の減速懸念が台頭し、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループがクラウド事業及びIT人材事業を展開する情報通信サービス市場におきましては、企業の旺盛なIT投資姿勢が継続しており、市場の拡大が継続しております。

このような経営環境の中、当社グループは経営方針として「高収益な複数サービスが生み出すキャッシュを成長サービスに集中投下」を掲げ、成長加速を実現するための投資を強化してまいりました。

具体的には、次期主力サービスと位置付けるクラウド経費精算システム「楽楽精算」の導入社数及び売上高の拡大を目的とした、営業人員の増強とマーケティング強化に加え、顧客の利便性向上が見込まれるアライアンスの締結を行う等積極的な拡販活動に注力してまいりました。更に、「楽楽精算」の認知度向上施策として首都圏でのTVCMを実施する等、今後の成長加速を見据えた投資にも取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,337,629千円（前年同四半期比20.3%増）、営業利益は410,052千円（前年同四半期比6.9%増）、経常利益は406,154千円（前年同四半期比6.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は278,742千円（前年同四半期比9.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①クラウド事業

クラウド事業は、マーケティングの強化に加え、営業人員の増員と既存サービスの機能改善を持続的に行う等積極的な成長投資を行いました。また、販売代理店の開拓や提携を通じた効率的な営業活動に努めました。以上の結果、売上高1,639,897千円（前年同四半期比28.4%増）、セグメント利益は334,120千円（前年同四半期比16.0%増）となりました。

②IT人材事業

IT人材事業は、企業収益の改善に伴うIT投資の増加や、慢性的なITエンジニア不足を背景に稼働人員数が増加しましたが、エンジニアの継続的な確保を目的として人事制度を変更し、平均給与を上昇させたことにより、利益率が低下いたしました。以上の結果、売上高は697,732千円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は75,932千円（前年同四半期比20.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,503,739千円となり、前連結会計年度末に比べて249,074千円減少いたしました。主な要因は、売掛金が56,614千円増加したものの、現金及び預金が287,975千円、繰延税金資産が26,592千円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は651,033千円となり、前連結会計年度末に比べて296,029千円増加いたしました。これは主に投資有価証券が202,703千円、差入保証金が94,694千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,154,772千円となり、前連結会計年度末に比べ46,954千円増加いたしました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は653,674千円となり、前連結会計年度末に比べて206,542千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等が140,722千円、未払費用が51,264千円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は22,908千円となり、前連結会計年度末に比べて22,908千円増加いたしました。これは、長期借入金が22,908千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は676,582千円となり、前連結会計年度末に比べ183,634千円減少いたしました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,478,189千円となり、前連結会計年度末に比べ230,589千円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が剰余金の配当により54,364千円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により278,742千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績見通しについては、平成28年5月13日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,047,507	1,759,531
売掛金	559,546	616,161
商品	6,335	4,482
仕掛品	4,517	—
繰延税金資産	85,606	59,013
その他	56,579	72,498
貸倒引当金	△7,278	△7,948
流動資産合計	2,752,814	2,503,739
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,637	33,013
工具、器具及び備品(純額)	81,670	85,567
有形固定資産合計	124,307	118,580
無形固定資産		
ソフトウェア	16,370	18,209
無形固定資産合計	16,370	18,209
投資その他の資産		
投資有価証券	—	202,703
差入保証金	97,335	192,029
繰延税金資産	115,979	118,840
その他	7,610	5,621
貸倒引当金	△6,600	△4,952
投資その他の資産合計	214,324	514,242
固定資産合計	355,003	651,033
資産合計	3,107,817	3,154,772

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	220	136
1年内返済予定の長期借入金	—	25,008
未払金	180,326	161,204
未払費用	203,988	152,724
未払法人税等	262,796	122,074
未払消費税等	75,268	51,891
前受金	118,932	117,382
その他	18,682	23,252
流動負債合計	860,217	653,674
固定負債		
長期借入金	—	22,908
固定負債合計	—	22,908
負債合計	860,217	676,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	378,378	378,378
資本剰余金	308,028	308,028
利益剰余金	1,559,359	1,783,737
自己株式	—	△73
株主資本合計	2,245,765	2,470,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	13,231
繰延ヘッジ損益	△449	△2,330
為替換算調整勘定	2,284	△2,780
その他の包括利益累計額合計	1,835	8,120
純資産合計	2,247,600	2,478,189
負債純資産合計	3,107,817	3,154,772

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	1,943,809	2,337,629
売上原価	794,660	876,263
売上総利益	1,149,149	1,461,365
販売費及び一般管理費	765,724	1,051,313
営業利益	383,425	410,052
営業外収益		
受取利息	99	29
為替差益	804	—
還付加算金	558	—
その他	258	59
営業外収益合計	1,721	88
営業外費用		
支払利息	—	15
為替差損	—	3,961
株式公開費用	2,487	—
その他	—	9
営業外費用合計	2,487	3,986
経常利益	382,659	406,154
特別損失		
固定資産除却損	45	74
特別損失合計	45	74
税金等調整前四半期純利益	382,614	406,079
法人税、住民税及び事業税	159,896	108,671
法人税等調整額	△31,319	18,666
法人税等合計	128,577	127,337
四半期純利益	254,036	278,742
親会社株主に帰属する四半期純利益	254,036	278,742

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	254,036	278,742
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	13,231
繰延ヘッジ損益	△15	△1,881
為替換算調整勘定	△2,158	△5,064
その他の包括利益合計	△2,173	6,285
四半期包括利益	251,863	285,027
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,863	285,027

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	382,614	406,079
減価償却費	24,164	35,117
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,376	△977
受取利息	△99	△29
支払利息	—	15
為替差損益 (△は益)	△293	2,709
固定資産除却損	45	74
売上債権の増減額 (△は増加)	△39,098	△57,116
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,972	6,370
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,595	△84
未払金の増減額 (△は減少)	△34,440	△7,121
未払費用の増減額 (△は減少)	18,979	△51,096
その他	△51,057	△28,924
小計	302,061	305,015
利息及び配当金の受取額	99	29
利息の支払額	—	△15
法人税等の支払額	—	△252,550
法人税等の還付額	47,633	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,793	52,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,434	△36,865
無形固定資産の取得による支出	△3,179	△7,150
投資有価証券の取得による支出	—	△183,566
差入保証金の差入による支出	△18,510	△101,096
差入保証金の回収による収入	908	1,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,216	△327,612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,084
自己株式の取得による支出	—	△73
配当金の支払額	△38,031	△54,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,031	△6,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,098	△6,396
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	259,447	△287,975
現金及び現金同等物の期首残高	974,800	2,047,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,234,247	1,759,531

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,276,974	666,835	1,943,809	1,943,809
計	1,276,974	666,835	1,943,809	1,943,809
セグメント利益	287,925	95,499	383,425	383,425

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	クラウド事業	IT人材事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,639,897	697,732	2,337,629	2,337,629
計	1,639,897	697,732	2,337,629	2,337,629
セグメント利益	334,120	75,932	410,052	410,052

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

(重要な後発事象)

株式分割

当社は、平成28年8月10日開催の取締役会の決議に基づき、平成28年10月1日付で株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

株式を分割することにより、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成28年9月30日(金)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式総数	11,326,000株
②今回の分割により増加する株式数	11,326,000株
③株式分割後の発行済株式総数	22,652,000株
④株式分割後の発行可能株式総数	40,000,000株

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	平成28年9月15日(木)
基準日	平成28年9月30日(金)
効力発生日	平成28年10月1日(土)

(4) その他

1株当たり情報に及ぼす影響は、サマリー情報の「1株当たり四半期純利益」に反映しております。